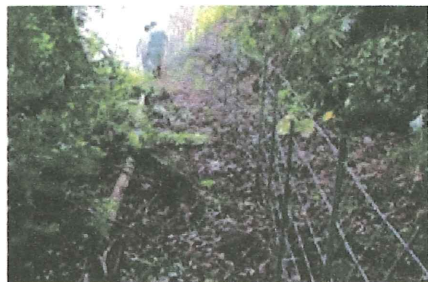


# ワイヤーメッシュ柵 設置後の管理について

管理は設置以上に重要！ 必ず**定期的な見回り**を行うこと！！

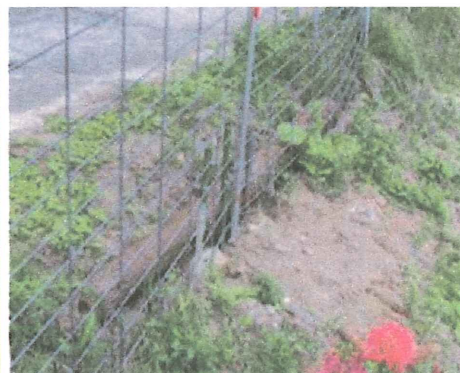
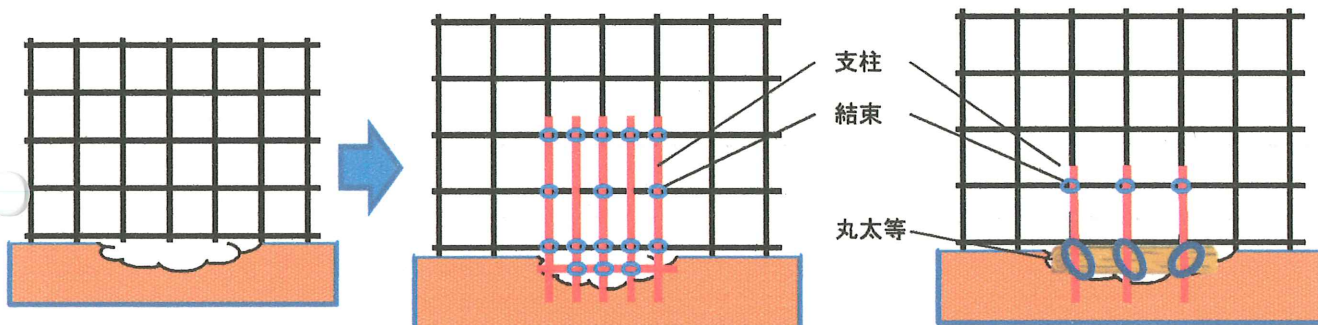


定期的に**草刈り**を行う。  
柵から数メートルを切り開いて  
おくと、緩衝帯にもなり、  
効果拡大。

(設置段階で、外に出れる開閉部をいくつか設けておくと管理しやすい)



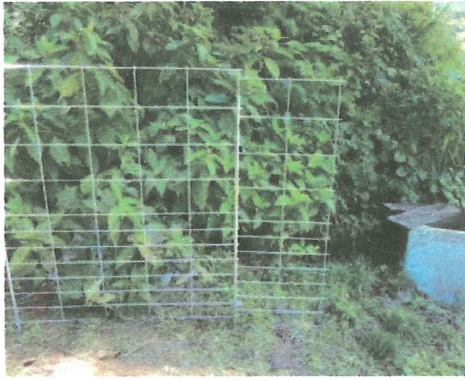
設置場所の凹凸や掘り返しによる、**柵の下からの侵入事例が多い。**  
隙間があれば、支柱や丸太等を活用して**補修する**。(下は補修のイメージ)



鳥獣害防止のためには、**適切な設置**と、設置後の**適切な管理**、  
また、問題点があれば追加で対策を講じ、  
**より良い防護柵に進化**させていくことが大切です。



# ワイヤーメッシュ柵 設置の留意点



地面の凹凸に合わせて、地面とWMの間に隙間ができないように設置する。



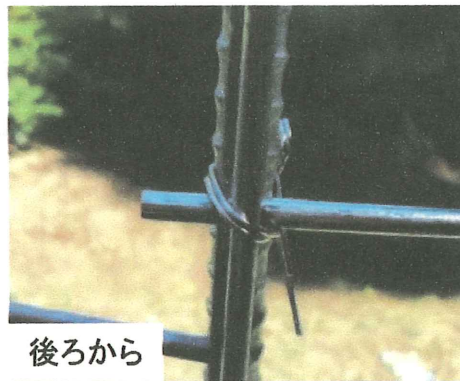
WM柵は地面に刺さるくらい踏み込んでから固定する。



支柱の上端がWMの上端より下になるくらいまで、しっかり支柱を打ち込む。



左から



後ろから

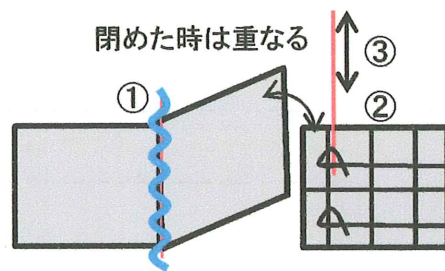


右から

柵の繋ぎ目は、1枚目、2枚目、支柱をまとめて結束する。  
 写真のようにタスキ掛けにして、支柱とWM柵がずれないようにする。  
 WM柵が外側(イノシシ側)、支柱と結束線の結び目が内側(圃場側)に来るよう、向きに注意する。



①



②



③

## ゲートの設置例

- ① 開閉の支点になる部分は、支柱と専用の結束資材(別売)で結束する。
- ② 開閉するWM柵は、外側のWM柵と重なるように設置し、外側のWM柵を②③のように加工する。
- ③ 閉めた時にWM柵を重ねて、③のように加工部に支柱を刺して固定する。